



柏崎総合医療センター 院内感染対策委員会

2020年7月6日（2021年1月改定）

“新しい生活様式”と柏崎総合医療センター

柏崎総合医療センターでは、これまでも感染対策に十分留意し医療の提供を行ってきました。そして新型コロナウイルス感染症をきっかけに、我々は新しい生活様式を受け入れ、今後も起こりうる新興感染症の発生になどにも対応できるよう、より一層感染対策に留意し安全な医療の提供を行っていきたいと考えます。これは、病院に入るすべて（患者さん・病院職員・外部業者さん）の方へのお願いです。

病院に入るすべての方

- 病院に入る方は必ず体温を測定してください。
- ご自宅で検温をして体調管理をしていただく事が原則ですが、病院入口にAI体温検知カメラを設置していますのでご利用ください。職員玄関にも設置しています。
- マスクを着用してください。口と鼻を覆うことのできる物であれば、布マスクなどでもかまいません。（医療スタッフはサージカルマスクを着用します。）

受診の場合

- 新患外来では、全員に問診票を記入していただき、発熱や呼吸器症状、旅行やイベントへの参加についてお伺いしています。
- 発熱・風邪症状での受診の場合は、事前にお電話でお問い合わせください。
- 発熱、呼吸器症状がある方は発熱者待合室でお待ちいただきます。
- 渡航歴や接触歴などで重大な感染症が疑われる場合は、別室で対応します。
- 再来、予約外来については、ご自宅での検温や病院入口での検温で、発熱やいつもとは違う呼吸器症状がある場合、受付にお申し出ください。

待合室について

新しい生活様式では「3密（密集・密接・密閉）をさけること」が必要と言われていますが、病院の待合室は混雑が予想されます。

- 病院はビル管理上必要な換気回数を維持しています。しかし待合室では身体的な距離の確保が難しいことから、不要な会話をしないこと、マスクを着用することで密集、密接のリスクを低減しましょう。